

松江市を変える「^{ちから}力」

のののうち誠

vol.5

〒699-0108
松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX(0852)52-3117



ホームページを開設しています。ブログもやっています。お気軽にケイタイからご覧いただけます

議会報告・後援会だより

E-mail:nonouchi@mable.ne.jp
HP:http://www.mable.ne.jp/~nonouchi

発行日:2012.10.29



松江市に合併して 1年が経ちました

東出雲町は昨年8月1日に松江市と編入合併を行い、速いもので1年が経過しました。伴う市議会議員増員選挙において当選させていただいてから1年が経過し、2度目の9月議会を野々内は経験しました。

東出雲町役場が東出雲支所となり、町民が市民と言いつつ変わりました。最初は何となく違和感があった松江市東出雲町の呼び名もなれてきました。また、松江市の施設や行事などはよそのまちの事と思っていたのが、段々とわが町にと意識が変わり、親しみが持てるようになりました。このような心の変化を感じるのには野々内だけではなれないと思います。

合併1年にして効果を計ることは早計かと思いつつ、大切な約束事なので、9月議会で合併時に策定された合併

市町村基本計画「まちづくり計画」の進捗度合いを質問しました。(次ページの一般質問で詳しく記載しています)

東出雲町の行政に長らく関わってきた野々内ですが、町村の中でも一定の行政規模があった東出雲町は様々な特徴的な行政施策がありました。特に、福祉や保健、教育といった身近な施策に先進的な取り組みがありました。合併後も東出雲町の特徴を活かしたり、松江市にない特色ある政策は残してもらわなければなりません。さらに、合併してのスケールメリットある施策展開も期待しているところです。

東出雲地域の市民の皆様からは合併前の行政を懐かしむ声多く聞かれるところですが、松江市の一員となった今、合併してよかったといわれるように市当局や私たち議員も努力をしなければなりません。そして、融合一体化への努力は市民の皆様方にもかかっています。

東出雲地域は人口がなお増え続け、今年中には15,000人(平成24年10月1日現在14,972人)になることでしょう。また、製造業の集積は松江市の新たな地域資源として注目されています。

夢の持てる市の運営が求められます。そして、東出雲はいつまでも元氣なまちであってほしいと願っています。野々内もそのためにがんばります。

9月市議会

9月市議会は9月5日から10月5日までの会期で開催。平成24年度補正予算ではものづくりアクションプラン策定事業や太陽光発電補助金の追加などで、この一般会計補正予算案など43議案を原案通り可決しました。このうち、来年4月1日から松江市下水道事業の公営企業化に伴い、水道局を改組し上下水道局とし、関係条例を一部改正する条例も全会一致で議決しました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

野々内は9月議会でも一般質問を行いました

野々内は松江市の発展のため、特に東出雲地域の発展と市民の皆様の幸せを願い、連続4度目の一般質問を9月議会で行いました。市民の皆様からの声を始め東出雲地域の課題を中心に、その中の3点を松浦市長や松江市執行部にいただきました。(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

一般質問を

行いました



Q1、東出雲地域における合併市町村基本計画の進捗状況について

(1) 合併市町村基本計画(まちづくり計画)における、合併1年を経過しての総括を問う

東出雲町が松江市に編入合併をされてから1年が経過しました。合併時に策定の合併市町村基本計画としてのまちづくり計画を検証し、計画の進捗度合いを問います。

この計画では、まちづくりの基本理念を3件、合併後の市の主要施策として5点を掲げていますが、市民はスケールメリットを求めています。これらを検証し、合併1年後の総括をお尋ねします。

(A) 松浦市長：合併時に策定のまちづくり計画に基づいて、いろいろな事業を行っています。合併後の市の融合一体化のための速やかに取り組む施策、ものづくり産業の



▲錦新町の早朝

振興、東出雲の特産品の育成といった東出雲地域の特色、魅力を伸ばす施策を積極的に進めています。

総括では、年度途中の合併であり、多少の戸惑いもあったと思いますが、現時点ではおおむね順調に進んでいるものと判断をしています。また、近年非常に集積が目覚ましい住宅地と商業施設の調和のとれたまちづくりを住民の皆様方と一緒に進めたいと思っています。

(2) 都市基盤としての交通網の整備の主要事業である都市計画道路揖屋馬潟線は、全面開通して初めて効果が上がる事業です。整備予定のお考えをお尋ねします。

(A) 石倉建設部長：都市計画道路揖屋馬潟線は、1,880メートルが未整備です。現在県施行分の680メートルの事業に着手し残り1,200メートル区間の整備は、この路線の主要区間である県道区分の進捗状況を鑑みて、事業の財源、手法を検討の上、実施したいと考えています。

(3) 生活環境の整備としての市営住宅団地建設事業である、南廻山住宅団地は、残る14戸の建設予定が平成24年度は事業延期されました。今後の事業の見通しをお尋ねします。

(A) 石倉建設部長：基本計画に基



▲南廻山住宅団地の市営住宅建設予定地

づき民間賃貸住宅の借り上げや市の全体的な住宅に関する需要等の状況を勘案しながら検討したいと考えています。

(4) 教育・文化の振興のうち、学校教育の充実、東出雲町が力を入れて取り組んできた施策で、全国的にも注目をされる取り組みを数多く行ってきました。ハードとソフトの両面についてお答えください。

(A) 福島教育長：まちづくり計画に掲載されている主要事業は、学校図書館教育の推進、心とからだ育成事業、屋外運動場芝生化事業、特別支援教育推進、小児生活習慣病予防対策事業のこの5つの事業です。

このうち、学校図書館教育は、旧東出雲町で実施の特色ある取り組みを市全域に広げて実施をしています。そのほかの事業についても、既に体制を整えて着実に事業を進めています。また、小児生活習慣病予防対策事業については、今年度から2カ年健康教育推進校として東出雲中学校区を指定しています。

(5) 東出雲町では子育て支援を初めとする児童福祉も大きな施策として力を入れてきました。主要事業はどう進めているのかをお尋ねします。

(A) 田中健康福祉部長：①子供の医療費は、本年7月からは無料化の対象を小学校6年生まで拡大、拡充をしました。②保育所の保育料は、全体の約8割が該当の所得区分中間層に、今年度から国基準額に対して平均で37%から40%に軽減額の拡大を図り、待機児童解消の取り組みにも150名程度の定員増を図る計画です。

病児病後児保育は、全部で5カ所に拡大、緊急時の夜間一時預かり保育事業や保育料の第3子軽減等を引き続き実施をしています。子育て支援情報は携帯電話からの利便性の向上を図ります。

Q2、松江市ものづくり アクションプランについて。

(1) 具体的な目標と、産業支援センターの考え方や人的体制について問う。
松江市ものづくりアクションプランを策定中ですが、この全体像と具体的な目標を質問します。また、産業支援センターの考え方や人的体制についても、お答えください。

(A) 川原産業経済部長：目標として、
中海・宍道湖・大山圏域内企業との協働によるものづくり産業の振興、2点目に地域の特色ある産業の振興と松江発の新製品の開発、3点目に少子高齢化、環境、防災等のまちづくりへの貢献とIT活用によるスマートシティの実現、4点目にもうかる企業づくりによる国内外への積極的展開を掲げ、この目標を実現するための3本柱として、企業力向上、販路拡大、製品開発を立てました。そして、この柱ごとの支援策を詳細に立てています。

産業支援センターの考え方は、行政と緊密な連携で優位性を最大限発揮できるようにすることで、人的体制は、市職員の兼務に加え専門的なノウハウを持つ支援員や技術指導などの登録サポーターの配置など

を検討しています。

(2) F補助金(市内に事業所を新設か増設をした企業への電気料金の給付制度)の東出雲地域への拡大についての取り組みの現状を問う。

(A) 松浦市長：合併の際の大変大きな課題であることも十分承知し、何度となく経産省に出かけて協議をしています。前の合併の1市7町村のときに対象にしたのはいわゆる合併特例法があったと。今エネルギー政策の見直しがあり、原発交付金も含めてこうした助成事業が見直しをかけられるという状況もあります。私どもは今後も訴えを継続していきたいと思っています。

Q3、JRR東松江駅北側の整備について

東松江駅に北口の新設か横断橋を整備することで、馬淵工業団地や錦新町の皆さんも徒歩で利用できるが、東松江駅の北側の整備をする考えがないか伺います。



▲県営から駅舎が見えるのに行けません

(A) 能海政策部長：駅を利用する際の利便性は向上すると認識していますが、要望者(市)がその費用を負担することが基本であり、費用対効果を十分に検証する必要があります。

ます。少なくとも利用者が確実に見込まれ、現在利用者数(約100人)をある程度上回ることが必要ではないかと考えています。

※一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています
※フェイスブックもやっています

12月議会予定

12月5日(水)本会議

10日(月)一般質問

11日(火)一般質問

12日(水)一般質問

・議案質疑・委員会付託

13日(木)総務委員会

14日(月)教育民生委員会

17日(月)経済委員会、

建設環境委員会現地調査

18日(火)建設環境委員会

21日(金)本会議(委員長報告、討論・採決)

活動報告 最近の活動から

ひがすいと♪音楽祭・イベント

9月9日、東出雲町のコーナン東出雲店駐車場を会場に開催された「ひがすいと♪音楽祭&イベント」。曇りの天気の中、沢山の皆さんで賑わいました。音楽祭に出演された皆さん、出店やフリーマーケットに協力していただいた皆さん、そして、ご来場をいただいた沢山の皆さん、ありがとうございました。そして、東出雲の元気を発信した、とっても楽しい一日でした。発起をした一人として、第1回目としては大成功だと思っています。皆さんの笑顔が、来年もやろうと奮い立たせてくれます。



9月議会は決算審査も行い、野々内は副委員長に

9月12日の本会議で、平成23年度決算は決算特別委員会を設置して審議することに決定。決算特別委員会は、議長と監査委員の議員を除く33人で構成されます。同日、決算特別委員会が開催され、委員長に比良幸男委員が、副委員長に野々内が全会一致で選任されました。

平成23年度決算は、一般会計1件、特別会計13件、企業会計5件、計19会計を審査しました。平成23年度は、開府400年祭の最終年度、東出雲町の合併後初の決算です。皆さんからの税金で運営される市の予算。その用途が適性であったか、しっかりとチェックし認定しました。



▲松江市役所玄関

竹島・尖閣列島は我が国固有の領土です



9月12日、9月定例議会初日、「竹島の領土権確立に向けた対策強化を求める意見書について」と「尖閣諸島上陸に抗議し、対策強化を求める意見書について」の2件の議員提出議案が提出され、賛成多数で採択されました。

野々内は、7月10日に行政視察で、北海道根室市で北方領土の勉強をし、理不尽な不当占拠に憤りを覚えました。日本が領土の主張をするのは、歴史的・国際的に正当な根拠があるからです。政府は領土問題にもっと本格的に取り組んでほしいものです。

政府は領土問題にもっと本格的に取り組んでほしいものです。

まちの駅が市内15駅に増えました

野々内は6月議会の一般質問で「まち歩き観光にまちの駅の活用を」を取りあげました。市では早速、東出雲町内の2駅(まちの駅女寅、東出雲おちらと村)に加え、8月中に松江市内にまちの駅を13駅新設しました。今後の取り組みに期待をするとともに、すばやい市当局の対応に敬意を表します。



松江だんだん夏踊りで踊りました

8月25日、昨年に続いて県庁前の道路で開催された「松江だんだん夏踊り」は49団体約1800人が参加。野々内は、



議員9人と議会事務局数人とともに「松江夜曲」を踊りました。

ののうち誠 後援会です

ののうち誠講演会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。

この度後援会だよりvol.5を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

**後援会にご加入いただき
一緒にまちづくりをしていきましょう。**

後援会事務局
松江市東出雲町出雲郷1670

ALL FOR HIGASHIIZUMO

プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、61歳。
妻と死別し母と2人暮らし、子ども2人(結婚し独立)
住所/松江市東出雲町出雲郷1670
電話/0852-52-3117(FAX兼用)
【学歴】
昭和44年3月/島根県立松江農林高等学校卒業
【職歴】
平成11年4月1日/東出雲町企画財政課長
平成13年4月1日/東出雲町保健福祉課長
平成17年7月11日/東出雲町教育委員会教育次長
平成21年4月1日/東出雲町総務課長
平成22年4月1日/東出雲町参事
平成23年8月/市議会初当選
【活動歴】
出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、
体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、
出雲郷小学校PTA会長(3年間)、町PTA連絡協議会会長、
松江市農業委員